

ステレオヘッドホン

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MDR-SA3000/SA1000

主な特長

MDR-SA3000

- フルレンジ100kHz再生
新開発のナノコンポジットHDドライバユニットは低域から100kHzに至る超広帯域をたった1つのユニットで再生します。
- フレームメカニズムによる軽量設計
筐体にカーボンコンポジットフレームを採用することにより軽量化を実現しました。
- 多孔質ハウジング
ハウジング部には音響特性を最適化したセルロース系多孔質材料を採用することにより、共振による音の濁りを排除しつつ、軽量化も実現しました。
- 大面積ヘッドパッド
頭頂部に接触するヘッドパッドの面積を大きくとり、圧力を分散させることによって長時間の使用でも重さを感じさせない快適な装着感を実現しました。
- 360kJ/m³ネオジウムマグネット採用
音の解像度を高め、クリアな中高音と豊かな低音を再生する360kJ/m³ネオジウムマグネットを採用しました。
- 6N-OFC布巻きコード
優れた信号伝送特性を誇る高純度99.9999% 6N-OFCリツツ線を採用しました。

MDR-SA1000

- フルレンジ80kHz再生
新開発のHDドライバユニットは低域から80kHzに至る超広帯域をたった1つのユニットで再生します。
- フレームメカニズムによる軽量設計
フレーム構造を採用することにより軽量化を実現しました。
- 多孔質バッフル
バッフル部には音響特性を最適化したセルロース系多孔質材料を採用することにより、共鳴による音の濁りを排除しつつ、あわせて軽量化も実現しました。
- 大面積ヘッドパッド
頭頂部に接触するヘッドパッドの面積を大きくとり、圧力を分散させることによって長時間の使用でも重さを感じさせない快適な装着感を実現しました。
- 360kJ/m³ネオジウムマグネット採用
音の解像度を高め、クリアな中高音と豊かな低音を再生する360kJ/m³ネオジウムマグネットを採用しました。

主な仕様

型式	オープンエアダイナミック型
ドライバユニット	50mm、ドーム型 (CCAW採用)
最大入力	1,500 mW (IEC*)
インピーダンス	70 Ω (1kHzにて)
音圧感度	100 dB/mW
再生周波数帯域	MDR-SA3000 : 8~100,000 Hz MDR-SA1000 : 8~80,000 Hz
コード	MDR-SA3000 : 約3.5 m, 6N-OFCリツツ線 MDR-SA1000 : 約3.5 m, OFCリツツ線
プラグ	金メッキステレオ2ウェイプラグ
質量	約265 g (コード含まず)
付属品	プラグアダプター (1)、キャリングポーチ (1)、取扱説明書 (本書) (1)、保証書 (1)、ソニーご相談窓口のご案内 (1)、プロダクトインフォメーション (MDR-SA3000のみ) (1)

* IEC (国際電気標準会議) 規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずはチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間にについて

当社ではヘッドホンの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

⚠️ 警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

・ 安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

・ 故障したら使わない

・ 万一、異常が起きたら

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️ 警告 この表示の注意事項を守らないと、大けがなど人身事故の原因となります。

⚠️ 注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

行為を禁止する記号



禁止

- 突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。



禁止

- このヘッドホンは、構造上音が外に漏れやすくなっています。まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。特に電車の中などの公共の場所でのご使用はお控えください。



禁止

- 使用中、肌に合わないと感じたときは使用を中止して医師またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

⚠️ 警告 交通安全のために

運転中は使用しない

自転車やバイク、自動車などの運転中はヘッドホンは絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。運転中以外でも、踏み切りや駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。



禁止



⚠️ 注意

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。



禁止



- 突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。



禁止

- このヘッドホンは、構造上音が外に漏れやすくなっています。まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。特に電車の中などの公共の場所でのご使用はお控えください。



禁止

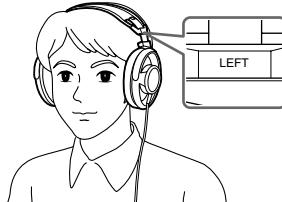
- 使用中、肌に合わないと感じたときは使用を中止して医師またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。



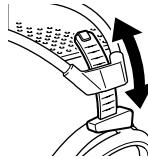
禁止

使いかた

右ハウジング (RIGHT) を右耳に、左ハウジング (LEFT) を左耳にして、ヘッドホンを頭にかけます。



スライダーは11段階に調整できます。お好みの位置にしてヘッドホンをご使用ください。



ご注意

ステレオ標準ジャックにつなぐときは、付属のプラグアダプターをお使いください。その際、ネジはしっかりと閉めてください。ゆるむと音が途切れたりすることがあります。

- ユニット部はていねいに扱ってください。
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のある場所には置かないでください。故障の原因となります。
- 常に良い音でお聞きいただくために、プラグを時々柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。その際、ユニット部に息を吹きかけることはしないでください。特にプラグ部分を汚れたままにしておくと、音質が悪くなったり、音がとぎれたりすることがあります。
- お手入れの際に溶剤（アルコール・シンナーなど）は使わないでください。変色・変形・劣化などにより素材をいためる場合があります。
- このヘッドホンは装着性向上のため、イヤーパッドのクッション部に低反撥ウレタンを使用しています。そのため本機は、気温が約10°C以上（通常の室温）で使用するのに最適な設計になっています。これよりも低い気温で使用した場合、イヤーパッドが通常よりも堅く感じられることがあります。材質の劣化ではありません。通常の室温に戻すと元に戻ります。
- イヤーパッドは長期の使用、保存によって劣化する恐れがあります。
- イヤーパッドは消耗品です。日常の使用や長期の保存により劣化しますので、破損したら交換してください。

イヤーパッドを交換する場合は、ソニーサービス窓口にご相談ください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

使用上のご注意

- このヘッドホンは、力を加えたり重さを加えたりしたまま長時間放置すると、変形してしまう恐れがあります。保管するときは变形しないようにしてください。
- 落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口

フリーダイヤル 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話 0466-31-2511

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「309」 + 「#」を押してください。
直接、担当窓口へおつなぎします。

修理相談窓口

フリーダイヤル 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389 受付時間 月～金：9:00～20:00 土・日・祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1